

## 令和5年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

金沢市立諸江町学校	プログラミング教育推進校	ICTの活用
-----------	--------------	--------

## 1 研究の重点と具体的な取組

## (1) 重点1 児童の追求意欲を高める課題の工夫

児童の問題意識に即して課題を設定したり、解決したいと思うような事象に出会わせたりすることで、児童の追求意欲を高めるようにする。

## (2) 重点2 児童が見通しを持つ場の工夫

順序や解決の見通し、方法の見通しなど、課題解決の糸口になるような見通しをもたせ、参加意欲を高めるようにする。操作活動や比較資料、スライド等を活用し、解決に近づけるようにする。

重点1、重点2共に以下の取組を行った。

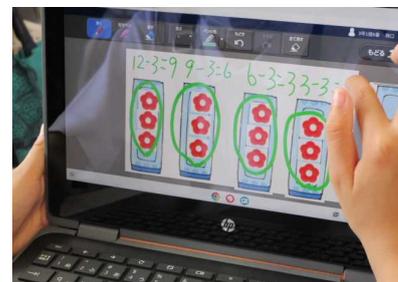
- ① 全体研究会で具体的取組の共通理解を図った。ICTの活用方法、活用場面について協議し、理解を深めた。
- ② 低・中・高・級外のグループで研究授業を行い、授業整理会でICTの効果的な活用方法について話し合い、理解を深めた。また、研究授業で作成したGoogleスライドなどを学年で共有し、授業で活用した。
- ③ グループ研で話し合った有効だった取組を、職員全体の「クラスルーム」に掲載し、全職員で共有した。



写真①



写真②



写真③

写真①②これまでの学習の足跡として残した動画や写真、掲示をもとに考えている。  
写真③ 実際に動かしながら、式とつなげて考えている。

## 2 取組の検証

## (1) 重点1 児童の追求意欲を高める課題の工夫についての肯定的評価

教員アンケート「導入で児童の意欲を高めるための工夫をしている」100%

児童アンケート「自分から進んで取り組むことができる」87%

## (2) 重点2 児童が見通しを持つ場の工夫についての肯定的評価

児童アンケート「進んで話し合い活動に参加し、自分の考えを深めたり広げたりしている」84%

## 3 成果と課題

教師の導入に対する意識が高まり、これまでの学習と比較させたり、解決したいと思うような事象との出合わせ方を工夫したりすることができた。その際、ICTの活用によって児童がより比較がしやすくなり、意欲的に参加する姿が見られた。

ICTの活用だけでは説明が十分ではないので、ICTを活用しながら言葉での説明を大事にし、理解したつもりではなく、確実な理解につながるようにしていきたい。